

やはば

議会だより

大型予算178億円

2

駅前地区の整備手順 一般質問9議員

9

23年度予算審査

7

矢巾中学校建設調査特別委員会中間報告

18

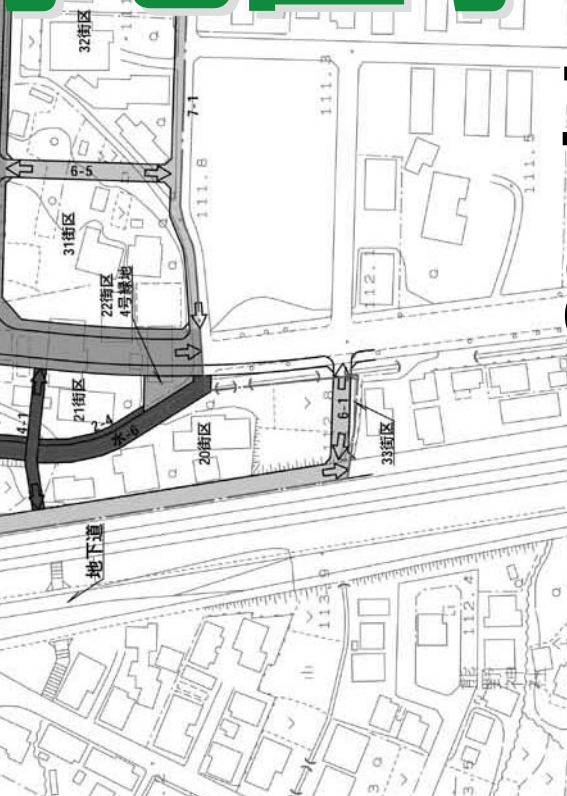
176
2011.4.14



うれしい卒園式 (不動保育園)

町地区事業スタート

事業費に 8億9869万円



3月議会は2月24日から3月17日までの22日間の会期で開催しました。前年対比13・4%増の178億円余となった23年度予算を中心に、条例の制定ほか補正予算等27議案を審議し、すべて可決しました。

一般質問は9議員が登壇(9ページに掲載)し医大関連対策課の創設について、公会計の整備推進についてなど24項目について考えをただしました。

下 水道事業会計は11億6500万円余と前年度対比22・1%増となっています。

また農業集落排水事業会計は、3億800万円余と前年度対比3・8%

平 成23年度一般会計予算は町税、地方交付税等歳入全般で前年度対比11億5040万(12・4%)増加したことにより、総額104億2060万円円余となりました。

第 6次矢巾町総合計画後期基本計画の初年度となる平成23年度予算は、矢巾中学校の移転改築事業が最終年となることや矢幅駅周辺土地区画整理事業、水道事業会計の増など全会計の総予算では178億7700万円余と前年度対比13・4%増の大型予算となりました。

矢巾中学校建設等で 大型予算178億円

減となっていますが、ほ場整備関連の受託事業や不動地区の排水設備設置整備補助金など整備事業が完了したため、公共

下水道、浄化槽と合わせた汚水処理人口普及率は平成23年度末で92・9%の見込みです。

(△はマイナス)

| 会計名 | 平成23年度当初予算 | 平成22年度当初予算 | 対前年度 | | |
|------|-------------|-------------|------------|-----------|-------|
| | | | 増減額 | 増減率 | |
| 一般会計 | 104億2,060万円 | 92億7,020万円 | 11億5,040万円 | 12.4% | |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 21億7,923万円 | 21億5,087万円 | 2,837万円 | 1.3% |
| | 老人保健 | | 352万円 | △352万円 | 皆減 |
| | 介護保険 | 14億1,276万円 | 13億6,083万円 | 5,193万円 | 3.8% |
| | 後期高齢者 | 1億4,198万円 | 1億5,626万円 | △1,428万円 | △9.1% |
| | 下水道 | 11億6,585万円 | 9億5,447万円 | 2億1,139万円 | 22.1% |
| | 農業集落排水 | 3億832万円 | 3億2,062万円 | △1,230万円 | △3.8% |
| 企業会計 | 水道 | 13億4,231万円 | 7億4,154万円 | 6億77万円 | 81.0% |
| | 収益的 | 5億6,639万円 | 5億5,009万円 | 1,629万円 | 3.0% |
| | 資本的 | 3億4,030万円 | 2億5,102万円 | 8,928万円 | 35.6% |
| 合計 | 178億7,774万円 | 157億5,942万円 | 21億1,833万円 | 13.4% | |

(各会計毎に四捨五入の関係で合計額は一致しません。)

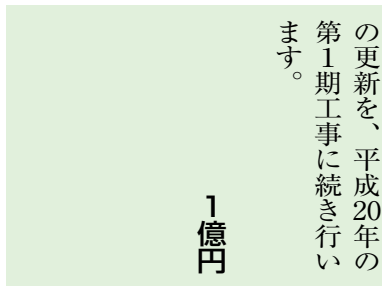
矢幅駅前



1億3044万円

矢中町初となる体調不良児、病児保育及び夜間保育にも対応するサービスを目指し、社会福祉法人敬愛会が矢幅駅西口医療福祉複合ビル2階に整備する保育所建設に対する補助金です。

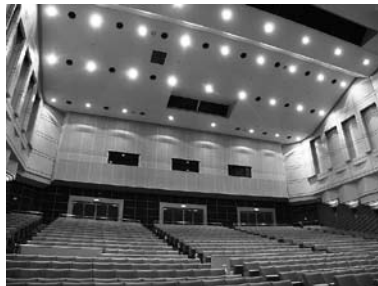
私立保育園整備費
補助事業



1億円

平成2年に完成した田園ホールの照明設備の更新を、平成20年の第1期工事に続きます。

田園ホール整備事業



2630万円

西徳田2区、矢中1区自治会の公民館建設、および城内・下北コミュニティ、上赤林部落会の公民館水洗化工事等に対する補助金です。

コミュニティ施設等
整備補助事業



一般会計
12.4%増の104億円

予算審査特別委員会

予算審査は、議長を除く 17 人の委員で構成された特別委員会（芦生健勝委員長、長谷川和男副委員長）を設置して審議しました。

歳入

田口 地方交付税の見込み額は適正か。

企画財政課長 国の予算に関する法案が通過しない場合、地方交付税や国庫負担金を財源とする子ども手当の支給が心配である。

高橋(七) 新規事業として太陽光発電助成金、約630万ほど見込んでいるが、事業内容は。

学務課長 全額矢中学校への助成金である。出力は19・5kwとなる。

総務

佐々木 町の監査委員事務局体制を専属化すべきではないか。

総務課長 総合事務局制のもとで情報収集が出来るものと考えており、現在のところ見直しを考えていない。

藤原(義) 不来方の高校正門付近の横断歩道に交通安全上危険箇所があるが、早急に対応すべきではないか。

総務課長 紫波署と協議しながら万全を期していきたい。

長谷川 東北地方太平洋沖地震災害等の緊急対応は万全か。

町長 必ずしも万全とは言えなかった部分もあったが、早急に対策本部を設置し概ね安全な対応が出来たと思っている。

佐々木 人口移動に伴う行政区の再編の考えはないか。

総務課長 現在矢次と雇用促進を合併し、新田地区を分割したいと考えており鋭意検討をかさねている。



地震災害対策本部

福祉・環境

米倉 矢巾斎苑の駐
車場の拡張計画は。

住民課長 六次総後期
計画で実施していきたい。



さわやか号

小川 さわやか号は、
バス停以外で手を上げた
ら止めてもらえないか。

企画財政課長 県道は
道交法上バス停を利用さ
れない。

町道については県交通
と相談し、スペースがあ
れば、止まることも検討
していきたい。

産業・建設

廣田 農地利用調整
推進事業と個別所得補償
対策における規模拡大加
算事業を併せて推進でき
ないか。

農林課長 町単独事業
である農地利用調整推進
事業は利用者が少ないこ
とから、見直しを検討す
る。
規模拡大加算事業は規
制や課題もあり、今後検
討していく。

小川 矢幅駅前開発
株式会社は構成員と出資
比率を変更するとの報告
があったが問題はないか。

副町長 矢幅駅前開発
株式会社は駅前開発事業
の契約会社であるが、会
社内部での一部変更との
ことで問題はない。

山崎 昨年はカメ虫
と腹黒米被害により一等
米比率が下がり、加えて
色選料の支出で、農家経
済を圧迫したが、来年度
の対策は。

農林課長 来年度はカ
メ虫防除と併せて腹黒米
の菌を防除する薬剤散布
も行うよう農協と打ち合
わせており、薬剤に対す
る補助について計画して
いきたい。

高橋(七) 現在のウエ
ストヒルズ広宮沢への入
居状況は。

区画整理課長 企業系
が44%、住居系が34%と
なっており良好とは言え
ず、特にも住居系の販売
が伸び悩んでいる。



ウエストヒルズへの進出企業

教育・文化

藤原(義) 小学5・6年生を対象に英語力向上事業が本格的に始まる。全国的に不安を感じている先生が多いと聞くと問題はなにか。

教育長 23年度から、英語に親しむことを目的に年間30時間を計画している。

先生方にはヒアリングや指導研修をおこなっており十分に対応できると考えている。



スポーツチャンバラ

佐々木 徳丹城造営1200年祭を盛り上げるため、全世帯で俳句づくりを行い、それを道路沿いに立てるなどの取り組みを考えてはどうか。

社教課長 9千世帯全体で取り組めるかなども含め、実行委員会で検討していく。

藤原(由) 2巡目国体に向け本町で取り組むスポーツチャンバラとラジオ体操について、どのように進めていくのか。

社教課長 子どもから大人まで幅広く参加できる具体的な計画を立て、機運を盛り上げていきたい。

特別・水道

山崎 今回の大地震でも本町の水道は断水することなく施設は順調に稼働しているが、今後の老朽管及び鉛管の更新計画はどのようになっているか。

上下水道課長 耐用年数を超えた管は1割程度であるが、来年度は南矢幅地区の更新を計画している。
鉛管については400件ほど残っており、4〜5年で計画的に更新していく。



老朽管の更新

13・2%増の大型予算

一般会計

第六次矢中町総合計画後期計画の初年度となる23年度予算は、矢中中学校改築事業や矢幅駅周辺事業を盛り込み総予算で178億7700万円余で対前13・2%増の大型予算となった。

町税は個人、法人とも景気回復を見越して増額としているが地方交付税など依存財源には不安定要素があり、矢中中学校の償還が始まる平成25年度には公債費比率が上昇することから、健全財政を維持する上で一層の行政改革の推進と経費の節約が求められる。

各特別会計

国民健康保険事業は健康づくり事業等により医療費の抑制に努めるとともに、保険税の適正課税・徴収により安定した事業

23年度予算審査

運営を図られたい。

介護保険事業は適正なケアプラン作成及びサービス提供に引き続き努め、地域包括支援センターを中心に各関係機関が連携し地域ケア体制を強化するとともに、超高齢化社会に向け介護予防を重視した施策を進められたい。

駅西地区区画整理事業は進捗率74%となる見込である。保留地販売については57%となるが、更なる販売に努められたい。

水道会計

地理情報システムの構築により東西連絡管の活用など水道管網の機能を高めながら、施設や管網の更新及び耐震化を図り、更なる安定給水に努められたい。

予算審査特別委員会

委員長 芦生健勝

大型開発予算に反対

23年度予算は矢幅駅周辺土地区画整理、矢中中学校建設に集中している。住民の暮らしを守り、産業振興対策が必要で、子どもの医療費助成制度の拡充を求める。
県内4番目に高い介護保険料金、上下水道料金の値上げや、町民の税金徴収は強化され、保険料を年金から天引きで医療機関にかかれぬ人を生み出す予算に反対する。

川村 よし子

反対

討論

駅前開発の見直しを

総額107億円の矢幅駅前地区区画整理事業は身の丈を超えたもので、財政の硬直化を招き必要な事業に支障をきたす。
高すぎる国保税の引き下げと減免を行いやすいようにし、年金の差し押さえや生活保護世帯から滞納税を徴収しないなど、社会的弱者の救済に重点をおく予算を要求し反対する。

小川 文子

本町発展の予算

一般会計の予算規模は、平成15年の103億円以来の大型予算104億円を計上している。
矢幅駅前地区区画整理事業や、矢中中学校移転改築などによる教育費の増で積極的な予算である。経常支出が高く推移するも慎重な財政運営に徹し、町民に不安や不信感を与えないよう健全経営に努める予算に賛成する。

川村 他人夫

賛成

積極的な予算に賛成

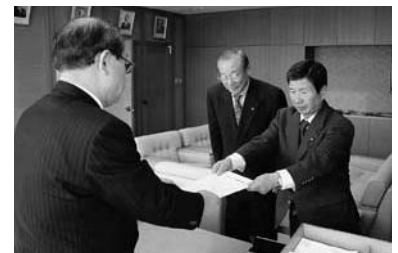
一般会計予算104億円のうち、税収比率は32億円と高く、住宅地の開発や企業誘致を積極的に進めてきた成果であるが、農業の担い手育成にも力を入れるべきである。
駅前整備事業や医大関連の整備、徳田橋についても早期の整備を望む。
予防検診率も上がり、教育や福祉の政策を推進する予算に賛成する。

藤原 義一

本会議採決

| | | | | |
|---------|----|----|----|---|
| 一般会計 | 賛成 | 15 | 反対 | 2 |
| 国保会計 | 賛成 | 15 | 反対 | 2 |
| 介護会計 | 賛成 | 15 | 反対 | 2 |
| 後期高齢者会計 | 賛成 | 15 | 反対 | 2 |
| 下水道会計 | 賛成 | 15 | 反対 | 2 |
| 農集排会計 | 賛成 | 15 | 反対 | 2 |
| 駅区画整理会計 | 賛成 | 15 | 反対 | 2 |
| 水道会計 | 賛成 | 15 | 反対 | 2 |

可決



審査報告書を提出する正副委員長

補正予算

平成22年度一般会計補正予算は1億3707万円減額し、99億967万円となりました。

【主な補正予算】

・徳田保育園移転改築補助金

△902万円

・農業用施設復旧支援対策事業補助金

650万円

・いわて希望農業担い手応援事業補助金の増

429万円

・矢巾中学校建設工事請負費

△4億9973万円

みなさんからの請願

▽町道改良舗装についての請願

和味行政區長 野中源一

不動地区懇談会

幹事長 菅原忠文

館前行政區長 西澤正明

不動地区自治公民館連絡協議会

桜屋行政區長 廣田政夫

会長 山本幸市

全員賛成

採択

審査意見

町道藤蔵線は和味・桜屋・館前方面から東に向かう桜屋線及び三島線の延長上にあり、その先は平成24年に移転改築される矢巾中学校に通じる森線に繋がる幅員4m、延長343mの路線である。この路線は現在、生活道路として交通量は少ないものの、将来、中学校

の通学路として指定される見込みがある。中学校施設は、今後ますます地域からその活用が求められることから、西部地区の住民や生徒が直線的に通行できる道路改良は必要であり、それにより交通アクセスの利便性が良くなると思われる。

▽保険料の値上げに直結する国保「広域化」に反対する意見書採択を求める請願

岩手県社会保障推進協議会

高橋八郎

盛岡地域労働組合連合会

森本俊雄

全日本年金者組合盛岡支部

後藤法夫

教育民生常任委員会 で継続審査

医大関連対策課の創設

プロジェクトチームで対応



むらまつ てるお 議員
村松 輝夫 議員

村松 施政方針で川村町長は「矢巾駅前地区の再開発は、30年来の懸案事業であり、駅、医大キャンパス、病院、そして徳田橋へと新しい人の流れ、賑わいを創出し将来の矢巾町を展望する事業」と述べている。

町長 現在、医大移転事業については企画財政課が窓口となり対応している。また、関係機関との協議調整等、事業規模・内容に応じ課を越えた専門的知識を持ち合うプロジェクトでの対応で積極的に対応している。



完成した矢巾キャンパス

町長 ①3月から権利者個々に説明を行い、仮換地指定、ライフラインを考慮した建物移転や工事スケジュール等を作成し着手する。公共施設用地確保に向けての対策も進めていく。②当該建物を仮換地先までの移転補償費を算定し補償する。借家人にも動産の移転

村松 駅前地区の区画整理事業で地権者と町の話し合いが始まるが、下水道の関係や駅前広場とその周辺整備への期待と不安も大きいことから次の3点について伺う。
①着工手順とその基準は
②借地・借家者への補償と対策
③複合施設の建設時期

駅前地区の整備手順

下水道管の隣接個所から

や仮住居費、営業補償費で対応していく。
③平成25年度に実施設計、26年度事業着手し2年間で完成を計画している。



駅前地区住民説明会



ひろたみつお 議員
廣田 光男 議員

公会計の整備推進

整備に向け鋭意取り組む

廣田 平成19年10月17日付で総務省財務局長から「公会計の整備推進」という通知があったと思うが、どのように対応されているか伺う。

①この通知が来ているか。

また、この通知は「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」においてその推進が要請されているものであり、本町としても取り組むべきと思うが、情報開示も含めどう受け止めているか。

②町村は平成23年度までに貸借対照表、行政コスト計算書等4表の整備又は作成に必要な情報の開示に取り組むこととされているが、情報開示にどう取り組んでいくのか。

また、4表に精通している職員はどのくらいいるのか。

町長 ①県を通して通知されている。財務書類4表の整備のための準備と関連情報の開示の方法を模索しているところである。

また、町が保有する資産を明らかにし、未利用財産の売却促進や有効活用を図っていくことが、町政の透明化と健全な財政運営を推進する上で重要な課題と受け止め、鋭意取り組んでいる。

②水道事業会計においては、貸借対照表などを公開している。作成の経験がある職員は一定の理解をしているものと捉えている。

今後一人でも多くの職員を積極的に研修会に参加させていきたい。

農商工連携による六次産業化

定期的な協議の場創設

廣田 ①活力と魅力のある農業の実現のため付加価値の高い製品の導入や複合経営の推進により、農業で生計を維持できる農家経営の樹立を目指すべきである。

向上と農家経営の安定化を期待できる取り組みとなり、農産物の増産にもつながることから本町農業を持続、発展させていくための重要な施策と捉えている。

を実施しており、親も含めた家庭教育に重点を置いた食農教育を推進する環境の構築が必要と考えている。

同時に消費者に対しても町内で生産される農作物や、農業者を機会あるごとに広く町内外へ紹介するなど、積極的に矢巾の農業のPR活動を展開し、農業や農産物の大切さを理解していただく取り組みをしていきたい。

農商工連携による六次産業化の推進、特産物の開発や販売戦略をどう構築するか方向性は。

②子どもの食に対する興味と農産物生産の必要性、食を通して農業の重要性の教育や消費者に対しても食の分野を支える産業の尊さを体験させることで農業の担い手を奮い立たせることができると思うが、どのような施策が有効と考えているか。

今回策定した「矢巾町農業ビジョン」においても、農商工関係者から協議をいただき、六次産業化の推進に取り組むべき指標としたところである。

②町では関係部署で構成する「やば食ネット」で小学生を対象に農業体験

町長 ①農業にとって六次産業化は、自らの生産物に付加価値をつけて販売することにより、農業収入の



特産のモチ米焼酎

学園都市構想の取り組み

学園・文教都市と認識

川村 盛岡広域都市計画区域に位置している本町に於いて今後の土地利用の方向性を総括し、町の新しいイメージや特性を内外に広め発展を期するため、矢巾町総合計画後期基本計画「学園都市構想」を盛り込むべきと考えるがどうか。

利用の要請が高まるものと想定される。アクセス道路等の整備や大学と地域を結びつける施策など、社会環境の変化に対応した土地利用の適切な誘導を図り、魅力あるまちづくりの推進を目指すこととしている。

学園都市、文教都市としての位置づけは確保されていると認識しているが特別に学園都市としての構想はない。



かわむら 川村 たいお 他人夫 議員

町長 第六次矢巾町総合計画後期基本計画は矢幅駅周辺の土地区画整理事業や岩手医科大学および附属病院の総合移転などにより、都市的土地



産業技術短期大学校

徳丹城1200年祭を盛大に 年間を通した事業展開

川村 徳丹城発掘調査から63年経過し、昭和44年国の史跡指定を受け42年過ぎた。来年の徳丹城造営1200年祭は盛大に催したいが単にお祭をするのではなく、例えば南昌山で大文字焼きをし、南昌山の真上に夕日が沈む日（穀雨、処暑）に南昌太鼓の音色とともに狼煙を上げ、町内の太鼓が一斉に鳴り出す総参加のイベントを行なうなど、具体的な取り組みの考えがあるか。

教育委員長 発掘調査で判明した徳丹城の歴史性を分かりやすく一般に公開するシンポジウムなど春祭りだけではなく年間を通した関連事業を展開し計画していく。地元町内会などの意見を反映できる実行委員会を早期に立ち上げて造営1200年祭の成功に向け、将来の整備事業へ継がる取り組みとしていく。



徳丹城跡から望む南昌山



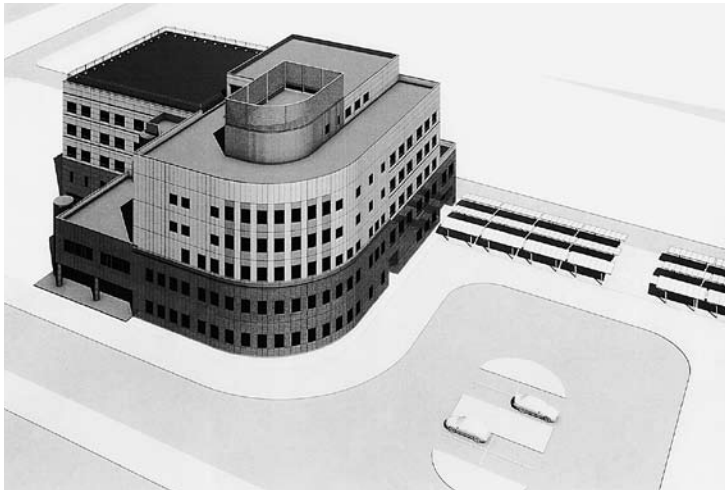
やまごき 山崎 道夫 議員

駅西事業の進捗状況

医療福祉複合ビルの計画

山崎 矢幅駅西地区土地区画整理事業における進捗率は74%で保留地の販売も57%となっているが、介護老人保健施設等の医療福祉関連のビルの建設計画があると聞いていますか。

また、新年度予算に計上している保育園補助金1億3000万円との関連は。



医療福祉複合ビル完成予想図

町長 去る3月22日に医療法人社団帰厚堂と土地売買契約を締結した。計画されている複合ビルには介護老人施設や保育所等13の医療・保険・福祉サービスと世代間交流センターが設置される構想となっている。

施設内に保育園の施設整備が予定されており、1億3000万円はその施設整備補助金である。

矢巾中跡地の有効活用

跡地は教育施設に

山崎 新矢巾中学校の建設工事は来春の開校を目指し順調に進んでいるが、町民の共有財産である跡地の活用については未だに示されていない。一定の方向性を出す時期ではないか。

また、盛岡市の学校法人が移転後の校舎を活用したいとの計画が示されたがその後どうなっているか。

町長 現在の施設を現状で有効活用するには教育施設として再利用することが最善の方向と考えている。

盛岡市の学校法人から移転後の校舎を活用したいとの話はあるが教育施設としての再利用には課題があり、課題解決に向け、国、県と協議を進

めている。
教育施設として活用することは矢巾駅西地区の

活性化にもつながることから実現に向け検討していく。



有効活用が望まれる矢巾中学校



かわむら 川村 よし子 議員

スマートインターは県事業で アクセス道路は町で整備

川村 無駄だと思う矢巾スマートインターチェンジの設置について次の点を伺う。
①建設調査結果はいつ公表するのか。
②医大へのアクセス道路整備は本来県の事業では。
③この予算を生活道路整備に充当しては。

町長
①町づくり、企業活動、救急車両のアクセスに必要であり、関係機関と協議し時期を見て公表する。
②スマートインターチェンジは東日本高速道路(株)が、国の補助金で料金所まで設置し、他の道路整備は町が行うものである。
③生活道路は地域からの要望を踏まえ、第六次総の中で順次進めていく。

保育園に正規職員を

有資格者で対応

川村 子ども子育てビジョンについて。

①徳田保育園を移転新築中であるが、具体的計画は。
②矢幅駅西口に建設される保育園の内容は。
③保育園には非正規職員が多いが保育に影響はないか。
④町内の公私立保育園に子育てに責任が持てる正規職員を採用すべきでは。
⑤子ども子育て支援の新システムは子どもの人権を守り、子ども優先の環境を確保することが出来るのか。

併設し定員90人で建設予定である。

③町内の保育園は、最低基準を上回る有資格者の職員で運営しており、影響はない。
④職員の配置基準は、正規、不正規の定めはなく、有資格者が中心となり責任を持って保育している。
⑤このシステムは市町村が実施し、国や都道府県等が支える仕組みで25年度の施行を目指している。

町長
①徳田保育園は150人定員とし、安全で快適なきめ細かいサービスを提供する。
②医療法人社団帰厚堂、社会福祉法人敬愛会が地域発展の充実に、医療・福祉の拠点と、保育園も



移転新築中の徳田保育園

食料主権と自給率向上

地場農産物の利用促進

川村 TPPに関連し食料主権と自給率について伺う。

①学校給食の地元産食材利用率は64・4%強と高いが、食の安全、安心のためにも生産者、JA、商工業者と協議し、さらに利用率を高める対策は。
②学校や連合婦人会、各団体の研修などでTPPについて学ぶ体制は。

町長
①平成16年町内産の利用率は40%で、21年は64・4%強であるが、地域生産者、JAシンセラと連携し地場農産物の利用率を高めていく。
②本町は生涯学習推進本部を設置しており、町づくり出前講座の学習会などに職員を派遣し対応している。



よねくら きよし 議員
米倉 清志 議員

市街化調整区域の開発整備 県・区域内市町村と協議

米倉 不動小周辺は市街化調整区域のままで土地利用するとしており、子育てや教育環境は整備されているが、人口が減少し賑わいも無くなった。については、静かな生活を好み農産物を作りながら居住を希望する人のためにも住宅建設特例条例を設けてはどうか。

町長 本町は、昭和45年から盛岡広域都市計画区域として盛岡市、滝沢村とともにまちづくりを進めてきている。このことから、町独自の条例を定め基準緩和することは出来ない。しかしながら、活力ある地域活動が維持できるよう県および区域内市町村と協議しながら見直しも検討していく。

農業ハウスの雪害対策

農機ハウスの活用

米倉 年末からの大雪で農業用ハウス75棟が倒壊した。再構築するには相当額の資金と建設に係わる人手不足が予想されている。また、米価の下落等から農業を断念するとの声もあるが、その指導体制とハウス建設への助成や資金融資はどうか。

町長 倒壊ハウスが多く育苗期までに全棟の再構築は難しいことから、育苗施設間の交流により対処したい。また、資金についてはJAの農機ハウスローン等の活用を推進し、利子補給や資材への助成を検討する。



雪害を受けたハウス

ドーム型運動場の建設

提言として捉える

米倉 不動地区の遊休地に学校進出の計画があり期待していたが、中止となり非常に残念に思っている。については、スポーツ振興と全国的なゲートボール大会招致による集客効果、不動地区の活性化をも含めたドーム型運動場を建設してはどうか。

町長 不動地区の遊休地の有効活用は、地区民との意見や情報の交換等、生の声を聞き自然環境を保全しつつ振興策を見い出したい。なお、スポーツ複合施設としてのドーム型運動場については貴重な提言として捉え今後のまちづくりの参考としたい。



矢巾温泉屋内ゲートボール場

生活道路、請願等の進捗率

計画的に順次整備

藤原 産業建設常任委員会では議会および町長に出された請願等の進捗状況の確認を行ったところ、昭和58年から平成22年4月1日まで、延べ119件の請願が出されている。

この間、概ね64%が工事を完了又は継続中とあったが、この進捗率をどう捉えているか。

また、残りの36%については今後どのように進めていくのか、請願者への説明はどのようにしているか。

併せて、町長の施政方針にあった「地域協働による道づくり事業」の進め方について伺う。



ふじわら よしみ 藤原 由巳 議員

町長 国の交付金等を最大限活用するなかで

15%ほど整備率を向上させてきたが、残りの36%については工事を完了とならなかつた路線を優先的に実施計画に取り込んでおり、14路線を整備する計画である。

請願者への説明は地域からの要望であり、現地調査をはじめ地域での話

し合い等その都度対応している。

「地域協働の道作り事業」は地域の町道等、自治会等の団体に簡易舗装工事等を対象に、地域住民の労力提供を受け、町職員が技術指導を行い整備を目指している事業であり、新年度は試行的に行っていくきたい。



整備が進む生活道路

医大附属病院へ町内農産品を 情報収集に努め生産組織で検討

藤原 六次総後期計画における農業関連施策について伺う。

①優良農地の確保において施策の目標係数が示されているが、その根拠と目標に向けての具体策は。
②米、麦をはじめとした作物別の振興計画と予算計画にある年次別計画をどのように合致させて進めていくのか。

また医大附属病院の移転に伴う農産物の提供対策をどう進めるか。
③集落営農組織の適正規模による法人化推進等平成23年度本町農政の具体策と、生産調整推進対策特別事業の内容は。

町長

①農業振興地域内の農用地区面積は21年度に比較し27年度の目標が3056畝と37畝減少しているが、その理由は、医大附属病院の建設用地、藤沢地区、中村地区を除外したことによる。
②作物別の振興について

は、各年、持続的な振興が必要と考え、ほぼ同額を計上しているが状況を踏まえて必要に応じた重点施策への変更も考慮していきたい。

医大附属病院への農産物の提供は品目や数量、価格等の情報を得ながら農協を含めた生産組織協議会の設置を検討していきたい。

③法人化の推進等については、機械作業の効率化や事務費等の経費削減など組織のあり方について検討していきたい。

生産調整推進対策特別事業の内容については、担い手を対象として、麦、大豆、二毛作への支援や集落営農組織の野菜栽培に対して支援を行うほか、ドリルシードや溝堀機への助成についても考えている。



小川 文子 議員

国保税引き下げの考えは 健全運営のため現行で

小川 矢中町の一人当たりの保険税は9万4266円と県内で2番目に高いが次の4点について伺う。

- ①本町の国保税の高い理由はなにか。
- ②町税として固定資産税を払っていることから資産割を廃止すべきでは。
- ③均等割、平等割の医療費分が周辺町村より高いことから引き下げられないか。
- ④滞納処分に当たり、滞納処理等の方針は変わらぬのか。

町長

- ①急速な高齢化の進展、医療技術の高度化により医療費の増加による。
- ②資産割は固定資産の所有割合によって負担を決めているもので二重の課税になってはいない。
- ③厳しい財政状況から引下げの考えはない。
- ④地方税法の規定による滞納処分の執行停止等に該当する場合、法令に従い適切に対応している。

上下水道料金の引下げ

見直しは困難

小川 財源不足を理由に平成20年に下水道料金が値上げされた。

- しかし、その後下水道の不正使用料金の負担や、岩手医科大学移転関連の水需要対策のため水道管整備をするとして値下げが出来ないとしてきたが、次の3点について伺う。
- ①下水道料金を2年前の水準に戻せないか。
- ②下水道料金は水道料金と同様の料金体系にすることができないか。
- ③町民に還元することを

優先し水道料金を値下げできないか。

町長

- ①水道施設は起債を財源として建設しており、料金の引き下げは考えていない。
- ②料金体系の頻繁な改定は、使用者にとって混乱を招くことから改定は考えていない。
- ③借入残額があることや設備の更新のため積立が必要であり、引下げは困難である。



生活に欠かすことのできない水道

駅前開発の今後

国の予算推移を注視

小川 駅前開発は公募型プロポーザル方式であり、PFIに比べて初期設定が変更しやすいと説明を受けてきたが、株式会社NIPPOOのホームページには矢幅駅前開発はPFIと表示されており、本町の認識と違いはないか。

また、駅前開発において国の補助金が仮に半額になった場合、複合施設の規模や維持管理費などについて協議しているか。

町長

NIPPOOのホームページの記載は現在PPP事業と表記が追加されており双方の認識に相違はない。

また、国の交付金が減額になったときは事業内容や規模について矢幅駅前開発株式会社と協議を行うなど、複合施設の規模や維持管理について検討をする。

政治の二元代表制

相互にけん制と抑制で

佐々木 首長と議会は別々の選挙で選ばれており対立が起きても不思議ではなく、議論を深め調整していく過程が二元代表制の妙味と思うが町長の所感を伺う。

に住民を代表する首長と議員が、相互にけん制、抑制と均衡によって緊張関係を保ち続けることが求められていると理解しております。



まさき 佐々木 議員

町長 地方公共団体の長と議員は憲法で住民が直接選挙で選ぶことを定めており、この二元代表制では首長と議員は共に住民を代表することとなります。

地方自治においては共



二元代表制

森林セラピーを県と連携 特定検診継続で健康づくり

佐々木 近年、針葉樹林から発散する香り成分である「フィトンチッド」(注)が疾病予防に効果があることが医学的に明らかになった。

森林セラピードックを県と連携して新たな施策として展開できないか。

森林の保全や水源地を涵養するために水道料金を減額し給水1立方メートルにつき10円くらいを徴収し涵養資金にしたらどうか。

注：樹木などが発散する科学物質。植物が傷つけられた際に放出し、殺菌力を持つ揮発性物質のことを指す。健康だけでなく癒しや安らぎを与える効果もある。

町長 森林セラピードックは重要な施策と思うが、現在取り組んでいる特定健康診査やがん検診等の健康づくり事業を今後も継続し町民の健康づくりを推進していく。

水資源涵養事業については本町の水源地の周辺に森林はあるものの水源との関係が明確な森林は無いと認識しており、新たな事業に取り組むことはできない。

弁当の日実施を

保護者の負担が大きく困難

佐々木 小学校5、6年生に年5回くらい自分で弁当を作る日を設け食育を高めるべきでは。

東小と徳田小の児童数に大差がある。

今後市街化の拡充、そして少人数級の動向から学区の見直しが必要ではないか。

教育委員長 弁当作りの趣旨は理解できるが、

現段階では保護者の負担が大きく困難ではないか。

適正な学校規模は学級数が概ね12から18学級とされており、今後の人口動向を把握しながら必要に応じて学区の見直しを検討していく。



楽しい弁当づくり

中間報告を発表

矢巾中学校建設調査特別委員会

平成20年第3回定例会において特別委員会を設置し、閉会中の調査として付託を受けた矢巾中学校の建設等に関する調査について、設置から現在まで特別委員会15回、幹事会4回開催し、本定例会に中間報告をまとめ発表しました。

中間調査意見書の内容は次のとおりです。

【中間調査意見】

当特別委員会は、矢巾中学校校舎等建設に係る基本設計の概要および跡地利用等について、建設委員会から数回説明を受けた。

特別委員会では、校舎等建設に係る基本設計調査に当たり、「デザインよりも機能的で使いやすく丈夫な校舎」というコンセプトによる設計について視察等を含め鋭意検討した。

その結果は、すべての普通教室を南面に配置し、T字型のシンブルな設計となっておりコンセプトに合致していると認められる。音楽室と連携できる多目的ホールやサポールームを設けるなど特徴的な設計となっている。屋外は300mトラック、全天候型テニスコートおよびハンドボールコート、駐車場も140台余りと広く、おおむね良としたところである。

本定例会において、矢幅駅前地区土地区画整理事業調査特別委員会の中間報告も行いました。



工事が進む新矢巾中学校

あ と が き

東北関東大地震は未曾有の大災害となり、被災した多くの方々々に心からお見舞い申し上げますと共に一日も早い復興を願ってやみません。

私も「議会だより委員会」はこの176号をもって4年の任期を終えることになりました。個性豊かな委員と事務局の協力のもと一定の役割は果たすと自負しております。

全国コンクール入賞は次期のメンバーが必ずや達成してくれるものと確信しております。

奇しくも最終の「あとかぎ」が回ってきたことに不思議な運命を感じつつ、委員会の更なる躍進を祈念し静かに筆を置きます。

編集委員長

芦生 健勝

発行・編集責任者

議長 吉田 秀一

編集委員

委員長 芦生 健勝

副委員長 米倉 清志

委員 藤原 由巳

山崎 道夫

廣田 光男